

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度の課題として挙げられた資料等の情報を関連付けて考えることについて、目標値を達成することができた。
- ・昨年度の課題として挙げられていた、6年生の地図やグラフの読み取りの正答率は、目標値を達成することができた。

(2) 課題

- ・6年生においては、知識・技能の正答率が目標値を大幅に下回っている。
- ・5年生においては、地図やグラフの読み取りの正答率が下回っている。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。		
第5学年	校内正答率は、目標値、全国平均正答率をやや上回っている。区平均正答率とほぼ同等の結果となっている。	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第4学年時)	
第6学年	校内正答率は、目標値、区平均正答率をやや上回っている。全国平均正答率とほぼ同等の結果となっている。	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともに上回っている。 (第5学年時)	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・理解度を問う問題での正答率が目標値や平均を下回っている。	・資料を基に考え、表現することは、目標値を下回っている。	

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈5年生〉 ・グラフや資料の読み取りが目標値や全国平均を下回っ	〈5・6年生〉 ・5・6年生ともに、自分の考えを表現することは、目標	

ている。 〈6年生〉 資料の読み取りの平均点は目標値を上回っているが、名称などの知識の定着が平均を下回っている。	値と同等の結果となっている。	
--	-----------------------	--

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題の追究及び解決に必要な情報を集め、読み取れるようにする。	単元の終末では、文章で記述することに加え、単元で扱った資料を複数活用して説明したり話し合ったりする学習活動を設定する。	

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈5年生〉 - 地図帳や資料集を授業内で多用し、資料からどのようなことを読み取れるか、一つの資料を丁寧に読み取る時間を取る。 〈6年生〉 - 資料と資料を関連付けて、読み取ったことを伝え合う活動を取り入れる。 - 読み取るだけでなく、重要な知識については繰り返し確認し、定着を図る。	〈5年生〉 - 学習内容の思考・判断・表現力を高めるために、身近な事例を導入で取り入れ、より自分事として学習に取り組みせ、学習後に実際に自分で節水の工夫を考えさせ、実践し、考察する学習活動を設定する。 〈6年生〉 - 資料をもとに考える力を高めるために社会事象の特色や相互関係、意味を多角的に考える力を身に付けられるよう、視点を与えて資料を読み取らせる。	